

連携機関からのお知らせです

# 3D培養 / オルガノイド培養の 疾患医学研究および創薬研究への応用

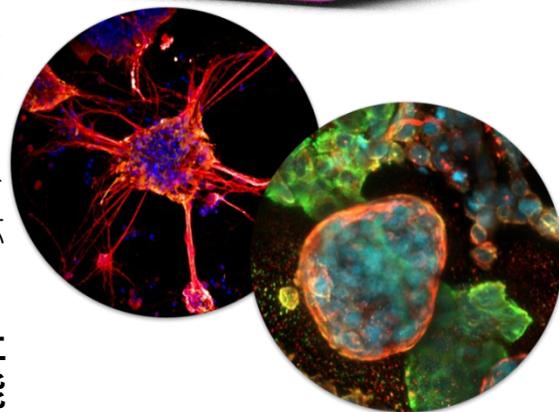
## RASTRUM 3D培養プラットフォームの紹介

3次元培養法やオルガノイド培養法は、生体に近い環境をインビトロで模倣できるため、再生医療だけでなく疾患モデルとしても、その有用性が高まっています。しかし、これらの培養法を初期の創薬スクリーニングあるいは創薬を視野に入れた疾患医学研究に活かすには、越えなければいけない壁があります。

Inventia Life Science社のRASTRUM 3D培養プリンターは、より複雑な3D培養モデルを、マイクロウェルプレートに再現性高くハイスループットに作成することのできる装置です。

本セミナーでは、**がん研究**と**神経疾患研究**の主な例を中心に、3D培養あるいはオルガノイド培養の創薬応用についてご紹介させていただきます。

ご希望の方は、本セミナーの後日デモ使用（株式会社スクラムの担当者にご相談）していただくことが可能です。4N5に一定期間機器を設置いたします。



- **開催日時**： 2025年7月17日（木） 18:00~19:00
- **演者**： 服部 徹（株式会社スクラム マーケティング担当）
- **開催方法**： ハイブリッド Web セミナー（Zoom）
- **オンサイト会場**： 信濃町キャンパス 総合医科学研究棟 4階 会議室4

《申込み》 下記URLもしくはQRコードからお申し込みください。

<https://forms.gle/tt6SfA5DBkQ1y8ks5>

予約フォームでお申込みの方にURLを別途お知らせします。電話での受け付けはしておりません。記入内容は協力企業と情報共有させていただきます。協力企業からの連絡のみを希望される場合も上記URLからご連絡ください。

申込締め切り2025/7/16（水）17：00

RASTRUM プラットフォームは、3つのコアソリューションを組み合わせることで、創薬研究と疾患医学研究に携わる研究用の理想的な3次元培養アッセイプレートを作成できます。

企業 連絡先

 **株式会社スクラム**

担当：文 太吉

E-mail：[webmaster@scrum-net.co.jp](mailto:webmaster@scrum-net.co.jp)

Tel：03-6458-6696

マトリクス



Cloudソフトウェア

プリンター



主催 連絡先

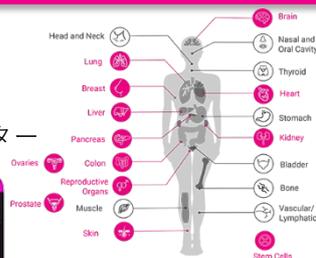
慶應義塾大学

医学部共同利用研究室

中央機器管理部門 担当：藤原

E-mail：[chuokiki-office-group@keio.jp](mailto:chuokiki-office-group@keio.jp)

<https://sites.google.com/keio.jp/corr-cf/home>



<https://forms.gle/tt6SfA5DBkQ1y8ks5>



65FA5DBKQ1Y8KS5

有志の大学共同利用施設がゆるやかに連携して活動しています。学部・大学・機関の壁を越えてふってご参加ください。